

授業科目 解剖学実習

【担当教員名】 宮脇 佳子		対象学年	1	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○		○	○	
【概要・一般目標：G10】					
<ul style="list-style-type: none"> ・実際の臓器を観察し、その役割を理解する。 ・顕微鏡を用いて、組織標本を観察し、各臓器の構造と細胞の動きについて理解する。 					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各臓器の名称と位置関係を概説できる。 2. 各臓器の生理学的な役割について概説できる。 3. 臓器の外観と顕微鏡下での組織像をマッチングできる。 4. 各臓器の微小構造の役割について、概説できる。 5. 病理解剖に使用する器具の名称と用途を概説できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	病理解剖の意義と利用する器具について学ぶ。肉眼的解剖 脳				肉眼像スケッチ
2	肉眼的解剖 肺・心臓				肉眼像スケッチ
2	肉眼的解剖 食道・胃・大腸				肉眼像スケッチ
4	肉眼的解剖 肝臓・胆嚢・膵臓				肉眼像スケッチ
5	肉眼的解剖 腎臓・脾臓・膀胱				肉眼像スケッチ
6	顕微鏡の使い方を学ぶ 顕微鏡的解剖 脳				顕微鏡観察スケッチ
7	顕微鏡的解剖 肺・心臓				顕微鏡観察スケッチ
8	顕微鏡的解剖 食道・胃・大腸				顕微鏡観察スケッチ
9	顕微鏡的解剖 肝臓・胆嚢・膵臓				顕微鏡観察スケッチ
10	顕微鏡的解剖 腎臓・脾臓・膀胱				顕微鏡観察スケッチ
11	顕微鏡的解剖 皮膚・子宮・卵巣				顕微鏡観察スケッチ
12	実習テスト				顕微鏡室
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		組織学総論—細胞・組織の基礎から 病理の理解へ—	穂田真澄	東京農工大学出版会	2,000 円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 スケッチ提出 顕微鏡室での実習テスト		【履修上の留意点】			
		<ul style="list-style-type: none"> ・色鉛筆を用意してください。 ・色鉛筆は通常 12 色セットのほか、以下の色をそろえてください。 ■三菱鉛筆の MAGENTA525、GELADON538 			